

(1) 校長挨拶 学校協議会では積極的なご意見を伺い、学校運営に反映していきたい。

(2) 協議

① 平成 28 年度学校経営計画のまとめについて (校長より説明)

今年度、本校の特徴として、外部講師の活用として、スクールソーシャルワーカー(以後 SSW)保護者用を年間 6 回来てもらい、助言をもらっている。また、今年度は、タブレット端末を 16 台設置するなど、校内の Wi-F 環境を整えた。

・今年度の取り組みについての評価は、おおむね○と◎であった。

・学校ホームページ等の活用については、現在改善中であり、来年度に向けて、準備をすすめている。ホームページについては、ダイレクトに入れるよう、検討する。

・SSW の相談内容は、主に、家庭支援や、不登校などの課題を抱える生徒に対してのアプローチや関係機関へのつなぎをどうするのか相談している。

・デージー図書とは、読み上げ機能付きの図書で、視覚支援効果がある。図書室の改修に伴い、購入した。

② 平成 29 年度学校経営計画について(校長より説明)

28 年度をふまえて、来年度の経営計画になっている。

安心・安全な学校をめざすために、インシデント・ヒアリハットの全体への注意喚起をはじめ、PTA と協働した防災対策、来年度より、全面委託になる通学バスの安全対策、施設設備の改善などに取り組む。来年度 2 年目になる、おはなしの森プロジェクトは、子どもの読書活動の推進と更なる図書室の充実に努める。

③ 学校教育自己診断アンケートについて

第 2 回学校協議会をうけて、課題としてあがった項目に対して、情報提供を意識的にを行い、活動内容等をアピールすることを徹底した。

・学校給食について

アンケートを受け、調理員が教室に出向き、一緒に給食をとりながら、意見を聞いたり現状を見るようにしている。アンケートを実施し、結果は来年度報告する。

・施設設備について

緊急性の高いものから、計画的に工事を実施し、来年度はエレベーターの工事を予定している。校内の設備の日々の管理は、校務員が見回り、不備があれば、その都度できる範囲で対応している。

(3) 連絡・報告

① 図書室の改装と現状の報告

中央図書館・府立東住吉支援学校と連携の下、進めてきた。今後も継続していく。来年度は、教員への研修実施や、児童・生徒への活用を推進していく。

② 今年度の進路の現状と報告

全員、希望する進路先に決定した。

(4) その他

- ・委員として学校協議会に参加し、今まで知らなかった、支援学校の現状を知ることが出来た。支援学校をもっとたくさんの人に知ってもらわなければと思った。
- ・卒業生の保護者として、以前より、学校の体制も変化している。良くなっていると感じている。
- ・PTAの活動や学校協議会に出席し、学習になった。PTAを良い形で継承していきたい。
- ・進路の話はたいへんためになった。卒業後も地域と連携し、歩んでいきたい。
- ・学部間、学年間での引き継ぎを丁寧にし、個々に注意すべきことを確認する。また、若い教職員や経験の少ない教職員への専門性の引継ぎが、支援学校の共通する課題である。
- ・多くの保護者が参加できる取り組みを展開し、新しいことを取り入れていながら、できることはできる、できないことはできない、と言える関係を保護者と構築することで、行って良かった、行かせて良かった学校を作ってほしい。

(5) 閉会